

2021年5月14日

2021年12月期 第1四半期決算発表に関するお知らせ

本日、2021年5月14日、2021年12月期 第1四半期の決算短信を公表いたしましたので、お知らせいたします。

当第1四半期連結累計期間（自2021年1月1日 至2021年3月31日）における主なトピックスは以下のとおりです。

財務面におけるトピックス

- 第三者割当による資金調達を実施
投資ファンドの3D・オポチュニティ・マスター・ファンドを割当先とする第三割当を実施。約20百万米ドルの開発資金を調達しました。
- Sanofi 社からマイルストーンを受領
導出していたAAV技術による遺伝子治療関連プロジェクトの進捗に伴い、4百万米ドルのマイルストーンが発生、Sanofi 社より4百万米ドルを受領。
当第1四半期における売上高として計上しました。
- 現金および現金同等物は76.3百万ドル
当第1四半期末（2021年3月31日）時点の現金及び現金同等物は76.3百万米ドル。前期末（2020年12月31日）時点の現金及び現金同等物60.0百万米ドルに対し、16.3百万米ドルの増加となりました。

研究開発におけるトピックス

- 米国生物医学先端研究開発機構（BARDA）との共同開発プロジェクトが開始
米国連邦政府の国家機関であるBARDAとの間で、MN-166（イブジラスト）を用いた化学ガス暴露脅威に対する治療法の開発プロジェクトが開始しました。
- 筋萎縮性側索硬化症（ALS）を適応とするフェーズ3臨床治験が進行中
MN-166（イブジラスト）のALSを適応とするフェーズ3臨床治験が順調に進行中。米国及びカナダで実施中の当臨床治験は、現在、計21箇所の治験サイトにて進行中です。
- 特発性肺線維症（IPF）を適応とするフェーズ2臨床治験が終了
ペンシルバニア州立大学 Hershey Medical Centerにて実施のMN-001（タイペルカスト）のIPFを適応とするフェーズ2臨床治験が終了。データ解析の準備が進められています。
- 新型コロナウイルスに対するワクチン開発を中止
バイオコモ株式会社及び三重大学との新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対するワクチンの共同開発を中止。既存プロジェクトにリソースを集中します。

その他

- 東京証券取引所での上場を維持
新規上場審査基準に準じた審査が完了、当該基準に適合すると認められ、監理銘柄（確認中）の指定が解除されました。よって、東京証券取引所における上場が維持されました。

詳細につきましては、2021年12月期 第1四半期決算短信及び適時開示資料にてご確認ください。

MediciNova, Inc. (メディシノバ・インク)
東京事務所 IR担当
E-mail infojapan@medicinova.com
URL <https://medicinova.jp/>